

巻頭言

地域協同集会の意義と 協同のネットワーク

岡村 信秀（広島県生活協同組合連合会 会長理事/協同総研副理事長）

来年、広島で全国協同集会が開催されて、20周年という節目の年を迎える。ここで改めて20年をふり振り返り、全国集会後に発展した地域協同集会と協同のネットワークについて検証する。

当時、私たちはワーカーズに対しほとんど知識がなかったため、準備の段階で戸惑いとワクワク感が入り混じり、あっという間に終了したというのが実感である。終わってみると「人と人との結びつき、すなわち“協同”こそが地域づくりの根幹だ」と再認識させられた集会であった。

そして、翌年の1999年からの3年間、毎年、ひろしま「地域と協同」集会が開催された。1999年の主たる収穫は、県内各地で協同の実践が多様に展開されており、生協や農協などの既存の協同組合の内部や周辺部に「生活支援(助け合い)活動」や「直売所」など当事者主体の小さな協同が誕生し、“協同”を醸成しているばかりではなく、生協や農協に好影響を与えているという発見であった。

3年間の活動交流で到達した結論は、「協同組合は、人と人との協同的な結びつきを維持しながら、効率的な

事業組織を組み立てるという難問を常に突きつけられている。その難問の克服に向けては、協同組合は効率化によるシステムティックな大規模な組織に一元化するのではなく、協同を内部に組織化しうる事業組織として『小さな協同組合を無数に内部化』することが重要である。すなわち、大きな協同・協同組合の中に小さな協同・協同組合をつくるという『協同組合内小協同組合』の形成が課題だ」ということだ。

その後、県内では“協同労働”に対する関心が高まってきた。2009年11月に開催された「協同集会 in 広島2009」では、ワーカーズの○△□(まる・さんかく・しかく)の高齢者福祉、NPO法人の障害者雇用の現場、生協しまねの「おたがいさま」、広島県世良高原の農業の6次産業化などの現状が報告された。そこでの発見は、報告団体の活動実体はまさに“協同労働”だということと、くらしのニーズや地域の課題が複雑・多様化する中、地域づくりは協同(労働)を軸としたネットワークが不可欠だということであった。そして2011年1月、ひろしま「協同労働」推

進ネットワーク（「協同」ネット）が発足し、翌2012年10月には「協同」ネット主催による「広島協同集会2012－地域・くらしまるごと協同」が開催された。来賓の松井広島市長からは「協同労働はまさに人間性の本質に根ざした労働であり、ディーセントワークの先取りではないか」とエールがおくられた。ちなみに、この集会は県内のすべての自治体が「後援団体」として応援してくれた。また、広島県協同組合連絡協議会（HJC、農協や生協など11団体）は組織として「協同」ネットに加入した。

その後、「協同」ネットは、映画「ワーカーズ」の上映、広島市「協同労働」プラットフォーム事業や自伐型林業の応援など多様な連帯活動を展開しているが、毎月1回の学習会「くらしのセミナー」の開催とそのあとの飲み会はとくに大切にしている。そして、来年、全国協同集会広島開催の20周年を迎えるにあたり、さらなる前進に向け協同集会の開催の声が聞こえてくる。県レベルでの協同のネットワークのさらなる前進（連帯）と地域レベルでの小さな協同の広がり（地域づくり）の新たな段階のはじまりである。

地域づくりは当事者主体による小さな協同づくりが大切だ。そして、その広がりや連続は、その周辺で、様々な協同組合や協同組織、中小企業者、行

政などの多様な協同（労働）のネットワークの形成と小さな協同との連携が不可欠となってくる。協同のネットワークの意義はまさにここにある。そして、それらを検証し新たな段階へ前進させていくためにも地域協同集会は重要な意味をもつ。

そのような中、2017年11月には広島県労福協主催の研修会で講師にワーカーズが招へいされ、センター事業団中四国事業本部長とプラットフォーム事業の統括責任者の2人が講演した。また、2018年2月にはHJC主催の「協同組合学校」でもワーカーズに講演が依頼されている。このように県レベルにおいて、ワーカーズとHJC、労福協、NPO、行政などの多様な連帯が加速しはじめているが、その要となっているのが「協同」ネットだ。今後の課題は、小さな協同のさらなる広がりや新たな社会経済システムの形成への関与だ。

時代は、多様性や創造性を認め合い、共に生き、共に育ち、共に働き、人々の幸福感や夢と希望が感じ取れる社会経済システムの形成を求めている。その実現に向けては、全国各地で地域協同集会が開催され協同のネットワークが広がることが重要だ。次代への責務としてもうひと踏ん張りしなければならない。

「協同集会」が社会連帯運動となる —地域協同集会の記録—

第1回の全国協同集会が1987年に静岡県伊東市で開催されてから30年目にあたる今年の10月7、8日に第18回目となる全国協同集会「いま、『協同』が創る2017全国集会」が滋賀県において開催されました。

「協同」を問い、「協同」を拓き、「協同」が創ることをテーマにした一連の全国協同集会は、やがて地域ごとの集会へと広がっていき、それぞれの地域課題を焦点としながら、地域のネットワークと結んだ取り組みへと発展をしています。

本号では、滋賀の全国協同集会前後に開催された地域版の協同集会にスポットをあてて報告いたします。わずか半年の間に、多種多様な協同集会が全国で開催されており、すべてを網羅することはできませんが、「協同」を求めて人々が集まり、学びあい、ともに地域をつくるネットワークが広がっていることを少しでも紹介できればと思います。

日本労協連及びセンター事業団の呼びかけで始まった協同集会ですが、この間の地域協同集会には2つの共通した特徴があります。

ひとつは、他の協同組合やNPO団体など地域の実践者、研究者、自治体関係者、市民と共に実行委員会を組織して議論を重ねながら準備をおこなっていることです。「2017ちば協同集会 in とうそう」では、実行委員会参加者から出された農業の後継者不足等の地域課題を反映したテーマ設定をおこない、「2017協同集会 in 東海」では、各団体が「協同できる」課題をつかむために、団体の活動紹介に時間をかけたとのこと。実行委員会が、地域課題を探り、そのために何ができるのか参加者どうしで議論する協同の実践の場として有意義なものとなっていることが窺えます。

もう一つは、協同集会を一過性のものとせず、はじめから後継ネットワーク組織づくりを構想しているという点です。「いばらき協同集会 in 古河」では、集会後も継続して地域懇談会を開催して地域づくりの活動を模索しています。「東葛地域協同集会in流山」は子ども食堂を中心のテーマに据えましたが、この集会を契機として流山市内に新たな子ども食堂が立ち上がりネットワークもできたとのこと。「協同集会 in せたがや」では、後継組織「世田谷まちづくりネットワーク懇談会(仮称)」への参加を呼びかけ、協同組合バンク「よいしごとステーション」の立ち上げにつながったという報告がありました。

地域協同集会は、疲弊した地域社会の再生のために市民が手をつなぐ契機となり、「協

同労働の協同組合」の法制化実現によって市民自身が新しい仕事おこしに挑戦していくことの重要性を地域に発信する機会となっています。各地で積み上げられている小さな協同の実践交流から、やがて法制化後の時代をつくる地域の担い手が誕生していくことを期待したいと思います。

(協同総合研究所 編集部)

全国で開催された協同集会（2017年6月～11月）



※「協同集会」と銘打った全ての集会を網羅したものではありません。

全国で開催された地域協同集会

「子どもの今を語る」
～いのち、かがやく 深呼吸～
ともに生きる今、未来へつなぐために
いま、「協同」が創る2017全国集会 フレ集會

2017年
6月4日 日 13:00~16:00
開場13:15

草津市立 サンサンホール 草津市大目二丁目11番51号

第1部 基調講演
13:30~14:15
「子どもの今、そして未来に」
仰木・里山ようちえん えくぼ代表 寺田 延代 氏
森の幼稚園等の活動を通して子どもの現状を語る

第2部 分散会
14:30~16:00
①「学ぶ」子どもの発達と将来の仕事・はたらくことを語る場
話題提供 NPO法人あめんど・ワークステーション若竹
②「遊ぶ」遊びを通して体験や仲間作りなどを語る場
話題提供 滋賀短期大学 山本 剛史 氏
③「食べる」アレルギーや環境のこと、食育などを語る場
話題提供 まなぶくらすカフェ きしだ めいこ 氏
岸本 美保子 氏

主催者 企業組合 労協センター事業団 みんなの家
後援 草津市

草津地域福祉事業所 みんなの家草津市東草津一丁目2番35号

ご予約 TEL:077-567-5579
お問い合わせ FAX:077-567-5578
※ 申込み必須 裏面に申込書あり

2017年度協同集会 I N 埼玉
共に暮らし、共に働く、地域へ
～地域自給圏の創造にむけて～

日時 : 7月29日(土) 13:30~17:00 資料代 500円
会場 : さいたま市産業文化センター (さいたま市中央区落合5-4-3)

プログラム
オープニング 太鼓集団「響」
2007年以降、これまで国内20都道府県、海外Centerbay(イングランド)、Edinburgh(スコットランド)での公演・演奏・ワークショップを含め、数多く好評を得る。太鼓を楽器として位置付け、音楽性を追求し、創造的な舞台を目指している。埼玉県を拠点とし、浦和・横浜・本庄に太鼓教室・演奏会を開催。幼児から年配の方まで幅広く参加し、伝える取り組みを大切にしている。「誰かがいて居場所」をコンセプトしてHIBIKI(CAFE)を横浜市で運営しており、そこに集う若者たちをサポートしている。

記念講演 「支えあいのある地域～地域の自給圏の取り組み」
大江 正章 氏 (コモンズ代表)
1957年生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業後、学協書房入社。1996年コモンズ創設。コモンズは、環境・アジア・食・農・自治などをテーマに暮らしを見直し、分り合いメッセージを伝えることをモットーとした出版社。2009年に社会出版文化賞特別賞受賞。
主催:「地域のかい・食・農・まちづくり」(総政新書 2008年)
第31回農業ジャーナリスト賞受賞
「田園回廊がひらく未来-農村再生の最前線」(総政アクト 2015年)

パネルディスカッション 「地域自給圏の創造に向けて」
パネリスト 見沼田ほ福祉農園 生活クラブ生協埼玉 ワーカーズコープ
コーディネーター 田嶋康利氏 (ワーカーズコープ連合会事務局長)
コメントーター 大江 正章 氏

主催: 埼玉協同・連携ネットワーク
日本労働者協同組合(ワーカーズコープ) 連合会センター事業団北関東事業本部
共催: 日本社会連帯機構北関東地方委員会
問合せ: センター事業団北関東事業本部 担当 斉藤・矢尾知
さいたま市南区南本町2-5-15 MM オフィス 201号
TEL: 048-844-0085 FAX: 048-844-0086
E-MAIL: k.takato@roukyou.gr.jp

地域や自治会の困りごとを「協同」で解決!
「とかいなか」でつながって
地域をつくろう
いずみ協同集会
とかいなか でくらしごと

持続可能な地域づくりに
いま注目を集める「協同労働」
自治会運営の困難といった声が
叫ばれる中、和歌山の市民活動
の実践の取り組み、協同労働での
事業運営や地域づくりといった
全国での実践をお聞きし、この
和歌山での地域づくりの豊かな
可能性を共に考えあいませんか

定員 100名

日程 2017年7月29日(土)
時間 13:00~16:30
会場 和歌山シティプラザ生涯学習センター3F
学習室4
参加費 500円(資料代)

集會内容 ・和歌山市内の市民活動、ネットワーク作り、森林事業等の実践
・全国の「協同労働」による自治会運営の実践

ご予約・お問い合わせ: ワーカーズコープ・センター事業団
TEL 06-4790-7171

主催 いずみ協同集會実行委員会(委員長:津田直樹 徳山学院大学客教授)
後援 日本社会連帯機構(市民活動・まちづくりを支援する団体です)

いま、「協同」が創る2017全国集会
2017年10月7日~8日 滋賀県草津市で開催!

ひとの「いのち」と「くらし」について
ともに生きる今、未来へつなぐために いま、「協同」が創る2017 奈良協同集会

奈良で暮らしていく中で
医療・こころ・地域から考える

医療の制度や枠をこえて地域への貢献をしたり、おてらおやつクラブを通じて地域を巻き込んだり、地域の新しい働きかたを全国で実践しているワーカーズコープ方式について

奈良ならではの地域づくりを一緒に考えませんか

プログラム
各団体の紹介
南談 奈良で暮らしていく中で具体的な実践と
体感から、地域づくりを考える
事例報告と呼びかけ

(社)医療生全 名誉理事長 稲垣 直樹 氏
おてらおやつクラブ事務局 善福寺住職 桂 浄薫 氏
ワーカーズコープ センター事業団 副理事長 藤田 徹 氏

8月27日(日) 13:25~15:45
開場13:05~
奈良県産業会館 大ホールにて 入場無料

主催: ひとの「いのち」と「暮らし」実行委員会・日本労働者協同組合ワーカーズコープ連合会センター事業団
協力: 社会医療法人 健生会
後援: 奈良県新聞社 ひとの「いのち」と「暮らし」実行委員会事務局 06-4790-7171

協同集会inひろしま

2017

～伝えたい、今こそ協同の力～

日程
11月12日(日)
開演 10:30～15:15
開場 10:00
資料代 ¥500 定員150名
※11/6日にお申込の方で希望者には、昼食 ¥500にて御用意です。ご希望の方は、申込用紙にご記入下さい。

開催趣旨
1998年に広島で開催された全国協同集会では「協同」とは何かを追求し、人と人とが結びつく事が「協同」であるという考えを導き出した。これからの社会の中で「協同」をキーワードに、これまでの「大規模な協同」から「小さな協同」を地域の中に無数に作り出すことが必要ではないかと打立20年になる。今社会は、生産性や効率化を追い求めるあまり、様々な関係が希薄化していき、少子高齢化、人口減少などこれまでに経験のない時代を迎えようとしている。復興していく地域の中で、NPOや協同組合、ボランティア団体などの様々な団体が、地域の課題を地域住民自ら解決することを目指し「小さな協同」を様々な形で生み出してきた。今回開催する協同集会では、そうした実践から「協同」がもたらす学び、地域に「小さな協同」を多様な団体・個人と創る事を目的に開催します。

開催場所
広島市西区観音町16-19
生協けんこうプラザ 広島市西消防署となり
広電 西観音町電停下車 徒歩1分

当日プログラム
第1部 10:30～11:50
▶ 基調講演
中島 康晴さん
NPO法人地域の絆 代表理事
講演テーマ
『個別支援と地域づくりを結んで、社会の安寧へ』
中島康晴さんのプロフィールは裏面をご覧ください
第2部 13:00～15:15
▶ 分科会
① 居場所・くらし ② 働く ③ 里山
※詳細は裏面をご覧ください

主催：ひろしま協同集会実行委員会
協賛：広島県生活協同組合連合会
広島県厚生生活協同組合
ひろしま協同労働推進ネットワーク
日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会・センター事業団

広島中央保健生活協同組合
ひろしま高齢者生活協同組合
一般社団法人 日本社会連帯機構
日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会・センター事業団

協同集会 in 名護

「いま ここに ともに いきる」

ザ・ちゃんぶる～フォーラム

～ちいさでつながるつどいinなご～

基調講演
(10:25～11:35)
「いま ここに ともに いきる」
やんばる地産づくりを伝える

講師 正敏 (Shimabukuro Seimin)
・ 歴任100年経理専修

講師 隆志 (Shimabukuro Takashi)
・ 沖縄大学准教授

永戸 祐三 (Nagato Yuzo)
・ 一般社団法人社会連帯機構 代表理事

2017.11.19 (日)
会場 名桜大学 学生会館SAKURAUUM (6Fスカイホール)
時間 10:00～17:30 (開場9:30)
参加費 無料
参加数 200名

開催趣旨
私たちワーカーズコープは協同労働の協同組合です。協同労働の協同組合とは労働＝出資＝経営をひとつのものとして位置づけ、地域のひとが自らの力と責任において、地域の課題解決のために仕事おし人々が支え合う社会を創造する協同組合です。こどもの豊かな育ちや高齢者の介護機能をしっかりと充実させる地域、困難を抱えるひと、若者をはじめ 働きたいと思う人がはたらく力をあわせる協同の力でいまここに ともに いきる地域を創っていきたくと考えております。この集いを機に、まちづくりの活動を結ぶ。なっている個人・団体と知識が合い、つながり、生活とこを結び、ひとづのちいさづのちを結び、多様なはたらかた等を異年齢で増え協同し歴史文化を大切にした地域の活性化へ向けたネットワークを築き持続し活動の輪を広げていきたいと考えています。地域のみんなの願いを希望にかえる一歩として開催の趣旨とさせていただきます。

ともに学ぼう

参加費 無料

持続可能な地域づくり

を考えるフォーラム

Food Work Life

「たべること」 「はたらくこと」 「いきること」
から私たちの生活を見つめなおしてみませんか！

11月23日 祝 13:30～16:30
定員100名

大崎市図書館(研修室123) 宮城県大崎市古川駅前大通4-2-1

第1部 13:45～14:45
蓮伝子組み換え作物の問題と私たちの食
講師：印能 智恵(日本の種子を守る会事務局アドバイザー)

第2部 15:00～16:30
食べること／働くこと・生きること
2つの分野ごとにわかれて

お申込み・お問い合わせ
おおさき協同集会実行委員会事務局
TEL 0229-25-6548 FAX 0229-25-6549
後援：大崎市

新宿協同集会

2017

誰もが参加できる
ささえ合いのまちづくり

11月26日(日)
14時00分～18時00分
15時30分集合

会場 パランステム生活協同組合連合会会議室
〒160-8555 東京都新宿区西新宿1-1-1 パランステムビル5F
※バス停：西新宿駅西口徒歩5分

講師 志波 早苗さん
・ 日本経済大学名誉教授
・ 日本経済大学名誉教授
・ 日本経済大学名誉教授

講師 滝口 宏輔さん
・ 日本経済大学名誉教授
・ 日本経済大学名誉教授
・ 日本経済大学名誉教授

新宿まちづくりネットワーク懇話会